

平成21年度現場見学会(第1回)報告書

主催 九州地区地すべり防止工事士会
共催 斜面防災対策技術協会九州支部
日本地すべり学会九州支部

平成21年度の現場見学会(第1回)を長崎県松浦市今福町の“石倉地すべり”において開催しました。北松型地すべりの規模を体験し、機構解析・対策工の状況を学ぶことを目的としました。

1. 経過報告

日 付：平成21年10月23日(金)

参加人員：41名

参加費：1,500円(弁当代含)

工 程：博多駅筑紫口	9：00	出発	(参加者11名、幹事3名)
基山PA	9：30		(参加者3名)
JR有田駅	10：30		(参加者5名)
現 地	11：30		(参加者16名、幹事・講師3名)
昼食を挟み、現地見学(集水井戸、排水トンネル、アンカー、杭)			
現 地	15：00	出発	(現地解散16名、幹事・講師3名)
JR有田駅	16：00		(解散5名)
基山PA	17：00		(解散4名)
博多駅筑紫口	17：30		(解散13名)

2. 当日の記録

幹事は2班に分かれ、1班(2名)は現地状況を確認(草刈)したり弁当・お茶の手配をするために先発隊としてレンタカーにて午前7時に出発した。2班(3名)は参加者と同行した。

参加予定者は全員で45名であったが、前日までにキャンセル(協会に連絡済)した人が3名、交代で参加した人が4名、集合場所を変更した人が3名となり、結果的に42名の参加であった。参加者を県別でいえば、福岡県22名(幹事5名含)・佐賀県11名・長崎県3名・大分県4名・鹿児島県1名・宮崎県1名(講師)であった。(詳細：添付資料)

3. アンケートの整理

昼食時に配布し見学後に回収したアンケート結果(添付資料)について述べる。

1) 参加者の感想

見学地・世話役(幹事)・説明者共に概ね好評であった。特に説明者(川崎氏)は災害発生時から対策工施工時までの経緯(裏話)・対策工選定の手法・施工時の苦労話など当時を振り返って熱弁をふるわれ、移動時の参加者の質問にも快く丁寧に対応して下さいました。

反省点としては、

参加者が40名程度となったので説明が聞きづらいところがあり、ハンドマイク(拡声器)があ

れば良かった。

見学箇所が多く時間が短かったため昼食時間が 20 分程度しか取れなかった。30～40 分程度確保したい。

2) 来年の見学地

来年の見学地の希望を聞いたところ、県別では大分県・地区別では山際地すべり・地すべりタイプ別では温泉地すべりという意見が多く出ました。今回参加されなかった会員からも意見を交換して決定したい。